

令和8年度 道徳教育全体計画

長崎市立為石小学校

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県・市教育方針
長崎市教育振興
計画

学校教育目標

ためし 最高！
～地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども～
＜めざす児童像＞

- ・楽しく めあてをもって しっかり学ぶ子ども
- ・正しく めあてをもって しっかり守る子ども
- ・たくましく めあてに向かって しっかり鍛える子ども

児童の実態

約束やきまりを守り、他人や社会への影響を考えて行動できる児童がまだ少ない。

社会・時代の要請
家庭・地域の願い

道徳教育目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

学校指導目標(生命尊重)		
低 学 年	中 学 年	高 学 年
生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

発達段階に応じた学年指導目標					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
○身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 ○先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	○よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 ○身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 ○先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	○自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち粘り強くやり抜く。 ○相手のことを思いやり、進んで親切にする。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。	○自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち粘り強くやり抜く。 ○相手のことを思いやり、進んで親切にする。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる	○より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く。 ○誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。	○より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く。 ○友達と互いに信頼し、学び合って友情を求め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていく。 ○異国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。

各教科	人権教育	特別活動	平和教育	総合的な学習の時間	国際理解教育	キャリア教育
○児童一人一人に確かな学力を保障する。 ○一人一人の個性と能力の伸張を図る。 ○主体的対話的で深い学びを促す指導過程を工夫する。	○個人の尊厳を重んじ、公正・公平にふるまえる実践力を育てる。 ○一人一人の思いを大切にしたり多様性を認めたりして、みんなで力をあわせて伸びようとする学級集団作りに努める。	○望ましい集団活動を通して、お互いを尊重し、望ましい社会生活を過ごすための心情や態度を育てる。 ○集会等の取組を通して、差別や人権に対する意識を高める。	○身近な問題から、平和を希求し創造・発信する心情を育てる。	○自然体験やボランティア活動などの社会体験を積極的に取り入れることにより、環境問題や福祉について理解を深めさせる。	○外国の生活・文化に慣れ親しむ体験活動を行い、コミュニケーション能力の素地を養う。 ○言語や文化に慣れ親しみ、世界の人々と積極的に関わろうとする態度を育てる。	○人間関係形成能力・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を児童の発達段階に応じて身につけさせる。

計画 実践 評価